



暑い2学期の始まりでした

今年は9月になっても真夏日が続き、部活動ができない日も多くありましたが、彼岸を過ぎると少し落ち着いてきました。10月10日は日輪祭（音楽発表会）です。音楽室や各学年の教室から元気のよい歌声が聴こえてきます。体育会の時のような“全校一丸となった”全校合唱を聴くのも今から楽しみです。また、今週末から秋季地区大会が始まります。全カプレーを期待しています。

9/13 山陽新聞レディースカップ社会科見学プログラム

毎年東児が丘マリンヒルズゴルフクラブで行われている『山陽新聞レディースカップ』。今年は日本女子プロゴルフ協会が主催している「社会科見学プログラム」が合わせて行われ、全校生徒で参加をしました。初めてゴルフ場に来た、初めて観戦した人も多くいる中、プロゴルファーの方の解説を聞きながらゴルフを観戦したり、運営の一端を体験したりしました。また、普段見ることのできない放送席の見学もしました。



よく、「将来なりたい職業は何ですか」と中学生に聞きますが、まだ知らない職業が多くあり、様々な体験や出会いを通して、自分に合った道を進んでいくことができると実感しました。

学びの多い9月

1年生応急手当講習（救急講習）

『救急車が来るまでに』

1年生は玉野市消防本部署員の方に来ていただき、心肺蘇生法を学びました。AEDの使い方や心臓マッサージの方法などを学び、実際に練習しました。「本番のように訓練し、実際に起こった時は訓練のように」と言われました。そのように真剣に行うことができました。



2年生人権学習『いのちのことを考える

～臓器移植医療を通して～』

2年生は岡山県臓器バンクの安田和弘さんから移植医療現場のお話を聞きました。自分は臓器提供をするかしないか、家族が希望したら、などを考えました。答えを出すのが難しい問いですが、まずは考えることが大切だと教えていただきました。



校内弁論大会

20日（金）に校内弁論大会を行いました。今年は胸上小・鉾立小の6年生もオンライン視聴しました。1年生の丹原里琉花さんは「I LOVE ごはん」と題して食の大切さを、難波ことねさんは「思い込みの大切さ」と題して挑戦することの大切さを伝えてくれました。2年生難波陽太さんは「友達は最高の存在」、中井麻帆さんは「任せてもらえた責任の重さ」と題した弁論で自分の経験から学んだことを、3年生の竹内寧音さんは「31cm」と題してヘアドネーションについて、高島美波さんは「完璧主義」と題して物事の捉え方を弁論しました。どの弁論もすばらしいものでした。11月1日に行われる玉野市中学生弁論大会に代表として竹内さんと高島さんが出場します。



東児地区にある東児が丘マリンヒルズゴルフクラブ。東児中からもグリーンが見えます。13日に訪れた時は天気もよく、青い空にグリーンが映え、別世界でした。東児中や海が見える所までは行きませんが、番田の立石がきれいに見えました。生徒の様子は山陽新聞でも大きく掲載されました。その他の記事では、多くの地元ボランティアの方が活躍されている様子が伝えられていました。その中で、高校生がボランティアとして参加したり、玉野商工高校の生徒が「あなご焼きそば」を販売したりする記事もありました。私たちが訪れた時は平日なので高校生はいませんが、ボランティアの方が「こんにちは！」と声をかけてくださいました。これから秋祭り等地域の行事もあります。地元活性化のために中学生も貢献できることがあるのではないかと考えた1日でした。